

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	0	指定基準以上のスペースを確保しております。
	②	職員の配置数は適切である	7	0	0	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	0	バリアフリー基準を満たしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっている	7	0	0	心地よく過ごせるように工夫しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	0	職員同士での報告書や話し合いの場を設けるようにしております。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	今後もアンケートなどを元に業務改善を行ってまいります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0	当施設のホームページにて公開しております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	0	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	研修会などに参加する機会を設けています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	0	児童や保護者のニーズに合わせてその都度変更、作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	0	アセスメントツールにのっとりレッスンを行っております。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	0	お子様の状況に合わせて話し合い活動プログラムの作成を行っております。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	0	楽しく取り組めるように工夫しております。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0	ミーティングを密に行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	楽しく取り組めるように様々なプログラムを用意しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	0	個別指導を主に行っております。 時折、小集団で行うこともあります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	開始前にミーティングを行い、その日の支援での出来事をスタッフ同士で報告しあっております。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日	7	0	0	報告する時間を設けています。

	行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している				
⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	日々、支援の検証・改善につとめてまいります。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	半年に一度モニタリング検討会議を実施し個別支援計画の見直しなどを検討しています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	参加できています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	0	連携を取るよう努めます。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7	0	対象者がいません。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7	0	対象者がいません。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	0	情報の共有を行っています。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	0	情報の共有を行っています。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	0	今後、積極的に参加できるようにしていきます。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	0	0	イベントを通して地域の方々と接する機会を設けております。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	7	0	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通解を持っている	7	0	0	保護者への報告を必ず行っています。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3	0	希望される保護者へ個別で行っております。

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	契約時に説明しております。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	0	同意を得ており、今後も保護者との情報交換や面談の機会を増やすなどして充実した支援が行えるよう努めてまいります。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	保護者からの相談に適宜対応しております。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	0	イベント時に交流していただいております。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	対応しております。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0	行事予定は発行している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	0	個人情報の取り扱いに注意を払っています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	絵カード、予定表などを用いて個々に対応しています。
非常時等の対応	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	0	定期的にイベントを開いて地域住民との交流を行っております。
	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	0	定期的に訓練を行っています。マニュアル等をスタッフで共有し保護者にも周知できるようにしていきます。
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	定期的に訓練を行っています。
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	0	状況を把握して対応していきます。
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	0	保護者からの情報を基に対応しています。
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	その都度作成し話し合いをしております。
	④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	研修する機会を設けています。
	④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	0	組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で行ってまいります。